

平成27年度「下呂市生涯学習推進の方針と重点」についての点検・評価

下呂市教育委員会

市民一人ひとりが生涯にわたって豊かな生活ができるよう学習し、その英知と努力を結集し、未来を築く生涯学習社会や、活力ある地域づくりにつなげることを目指し、以下の3本の柱を理念として事業を推進しました。

生涯学習課では、アウトカム評価（事業本質評価）により事業を進めることに取り組んでいます。各担当は、その事業を何のために行うのかを意識し、最終的に市民（学習者）にとって生きがいに繋がるものであったかを検証します。本年度は各事業毎にアウトプット評価（実施回数や参加者数等の指標）とアウトカム評価による点検・評価を行いました。

◆基本理念は3本の柱で活力ある生涯学習社会の構築を目指します。

- 自立…的確に判断し、行動・活動が出来る人づくり
- 協働…仲間や地域で協力し、活動できる家庭・地域づくり
- 創造…伝統や文化の伝承と、変化を受けとめ新たに創り出す社会づくり

市の責務

◎市民が「参加したい、活動しやすい、そして喜びにつながる施策づくりに努めます」

- ① 市民一人ひとりの学習意欲を喚起するため、事業の企画と啓発活動を積極的に行います。
- ② 市民が気軽に生涯学習にふれあえる施設・設備の開放を進めるとともに、活用する組織の自立した運営を目指します。
- ③ 学習機会の拡充のため、登録団体との連携を図り、市民への情報提供を行います。
- ④ 支え合いと活気のある社会を目指し、幅広いボランティアとリーダーの育成を図ります。
- ⑤ 行政相互の連絡・調整を図り、他からの情報を取得して市民の期待に応える施策に努めます。
- ⑥ 市民生活に活気がみなぎる故郷、快適で美しい環境、豊かな伝統・文化が息づく生涯学習事業の展開を目指します。

下呂市生涯学習の方向

市は、生涯学習活動を通して、個々の発意に基づく自助活動が、市民の喜びと元気につながることを目指し、多くの市民が公益性のある地域の共同作業に自主的に参加することを願っています。

市民が社会的に果たすべき重要な役割に照らし、一人でも多くの市民が連携しどのような契機で生涯学習活動に参加して頂けるのか知ることが重要です。市民の参加を喚起できる方向を掲げ、地域づくりや子育てなど身の回りがよく見えるようなライフプランの設定を考えます。

◇ 生涯学習の目標

- 1. 学 習 : 自己をみがき、生きがいをもつ。
- 1. スポーツ : 心身の健康を目指した運動を継続する。
- 1. ボランティア : 進んで活動に参加し、社会に奉仕する。

分野別方針

(1)家庭教育

下呂市の家庭教育は、子どもの自立と積極的で温かい心をもった子どもの育成、未来を担う子どもたちの人格形成の基礎を培うことを目指します。その実現に向けて、情報提供の工夫と支援プログラムの充実を図るよう事業を見直すと共に関係行政相互の連携を推進します。

【母親の胎内が、家庭教育のスタート】

(めざすこと) ①子育て支援、②乳児期から青少年期の段階に見合った子どもの育成、③保育園や学校、地域の連携による「家庭の教育力」や「地域参加」の向上、④公共心や規範意識、自己規制の力などを身につけること。

(2)青少年教育

生涯にわたる学習・生活の、基礎・基盤となる知識や技能、主体的に学ぶ意志や態度、さらには社会変化に適切に対応できる能力や、たくましく生きるために健康や体力などの「誇りをもって共に生きる力」を身に付けることを目指します。その実現に向けて、教育機関や地域社会との連携を推進していきます。

(3)地域教育

社会構造の変化から、全国的な地域コミュニティの衰退が課題となっていましたが、近年、住民側、市民団体側からの再生の動きが注目されています。その背景には、次のようなことがあります。

- ① 大災害などに備え、コミュニティの結束力を再構築する動きが広がっていること。
- ② 市町村合併が進む中、「手作り自治会」運動がみられること。
- ③ 地域コミュニティ自体に活動の機運が強まっていること。

日常生活における最小コミュニティは家族ですが、地域社会とのふれ合いは豊かな家庭生活を築く大きな力をもっています。人々との交流の中で生まれる喜びの感情や災害などの事案に遭遇したときの相互扶助の役割は、地域コミュニティに大いに期待されるべきものです。地域コミュニティの重要性が唱えられてきた気運を高めるため地域自治会等の強化と連携を推進していきます。

(4)情報教育

生涯学習の情報教育は、情報処理能力（情報活用、情報の理解、情報社会への参画）を高めることによって、市民が地域社会の中で主体性や創造性を発揮できるようになることを目指します。その実現に向けて、情報の共有、協働、ネットワークの整備を推進していきます。

◇ 市民の情報活用

課題や目的に応じた必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力の育成。

◇ 市民の情報への理解

情報を適切に扱い、自らの情報内容の評価・改善するための方法、理解力の育成。

◇ 情報社会に参画

社会生活の中で情報が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について理解し、望ましい情報社会の創造に参画する。

(5)生涯スポーツ

下呂市はスポーツを、運動や競技などの競争、肉体的鍛錬の内容だけでなく、体力づくり、健康の保持増進、青少年の健全育成、地域リーダーの育成、観光産業・文化交流などスポーツ文化の定着を目指しています。その実現に向けて健康づくりプロジェクトチームの組織化や総合型スポーツクラブの育成を推進していきます。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
社会教育事業 10040105	<ul style="list-style-type: none"> ◇下呂市社会教育委員の会を開催し、生涯学習課所管の事務事業の評価を行い、健全な事業運営に努める。 ◇社会教育関係団体（県・飛騨社教、県視聴覚協等）との連携。 ◇社会教育主事講習への参加。 ◇施設使用料の平準化実施後の検証と減免規定見直しの検討。 	(3) 地域教育 (4) 情報教育	社会教育委員の会 6回開催 ・生涯学習の基本方針の策定に 関わる意見・提言 ・下呂市社会教育関係団体年度 末登録団体数 126団体（前年度 から1団体増） ・まちづくり人材バンクの登録 件数 106件（前年度から1件 増）	「下呂市生涯学習の基本方針」 を策定したことで、さらに生涯 学習の重要性が、理解されるこ ととなった。
青少年教育事業 10040201	<ul style="list-style-type: none"> ◇少年の主張・英語スピーチコンテスト開催。 ◇青少年顕彰(わかあゆ賞)の実施。 ◇青少年育成市民会議の開催。 ◇青少年文化等振興激励金交付。 ◇立入検査（有害図書等）の実施。 ◇人権学習資料の配布。 	(2) 青少年教育 (3) 地域教育 (4) 情報教育	下呂市青少年育成推進員 15名 青少年育成市民会議主催行事 ①青少年育成市民会議 【H27. 6. 28実施】 ・少年の主張下呂市大会 市内中学校より推薦された7名が 発表し、審査の結果上位2名を 飛騨地区選考会へ推薦、1名県 大会へ出場した。 ・青少年育成顕彰「わかあゆ 賞」 青少年の文化、スポーツ、奉仕 活動等の優れた活動を顕彰 60 名、7団体 ②英語スピーチコンテスト 【H27. 10. 2実施】 国際化時代を迎えて英語力や 自己表現力の向上を図るため実 施。 市内7中学校の代表者が環境 や国際交流などをテーマにス ピーチ。 青少年全国大会出場激励金 11 名 55千円	青少年推進員と団結して調整、 連絡を図り大きな行事をスムー ズに開催することができた。ま た、推進員の方々は役割をもつ て事業をこなすことで個々の成 長に役立っている。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
青少年健全育成事業 10040205	◇子ども会活動の推進。 ◇親子わくわく科学体験教室（サイエンスの会へ委託）の開催。 ◇下呂市青少年育成推進員会議。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育	(1) 親子わくわく科学体験事業 市内小中学校の理科担当教諭等で構成された「下呂サイエンスの会」へ委託。 学校や家庭では体験できない科学の実験を通じて、子どもたちが驚きや感動の体験を味わい、親子のふれあいを深める機会をつくることを目的とし実施。 ①夏季の部 H27. 8. 8実施 参加者266人（内参加児童148人）、ボランティア中学生83人 ②冬季の部 H27. 11. 21実施 参加者332人（内参加児童188人）、ボランティア中学生117人 (2) 青少年各種団体補助金2,237千円 ・子ども会等活動育成補助金 ・青少年交流活動補助金 ・青少年健全育成推進会議補助金	(1) 親子わくわく科学体験事業を市内の「下呂サイエンスの会」に委託し、市内小中学校の多くの子どもたちを集めて夏季・冬季の2回科学実験体験を行うが、いずれも委託しているため実績のみの報告となる。現在、委託事業であるが委託ではなく「下呂サイエンスの会」の補助の仕方を今後考える必要がある。 (2) 各団体に補助金交付を行い各活動に役立っている。
成人式開催 10040209	◇成人式の開催。（旧町村単位で行う）	(2) 青少年教育 (3) 地域教育	成人式開催（5地区）323人参加 平成28年1月9日（土） 小坂 23人 下呂 129人 平成28年1月10日（日） 萩原 109人 馬瀬 14人 金山 48人	各地区にて成人を迎える子供たちを集めて実行委員会をひらき、成人式の内容を決める。成人を迎える子供たち自身で成人式を作るため地元の良さを再確認できる。

重 点		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
山之口キャンプ場管理運営 10040213	◇山之口キャンプ場の維持管理。利用期間は4月から10月。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育	平成27年度利用者 324人 前年度比 257% ※開設期間 4月～11月	市内学校はもちろんのこと、市外の利用者にも利用いただくことができた。また、市交流キャンプの拠点にもなっており、青少年における野外施設としての機能を果たしている。
中川原キャンプ場管理運営 10040217	◇中川原キャンプ場の維持管理。 ◇管理運営体制の見直し。	(3) 地域教育	平成27年度利用者 1,695人 前年度比 104.7% ※開設期間 4月～10月	市外からのリピート率が高く、施設の立地条件の良さが際立っている。また、委託管理をお願いしている落合区の行き届いた管理も功を奏し、例年並みの利用率となっている。
下呂市交流キャンプ開催 10040221	◇下呂市交流キャンプを実施。（山之口キャンプ場を会場にして市内の小中学校児童生徒から希望者）。 ◇ジュニアリーダーの資質向上と青少年の健全育成。 ◇子ども会活動の充実を図る。 ◇参加想定人数：110人。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育	下呂市交流キャンプ開催 市内の小中学生が集い、野外活動を通じた青少年の健全育成を図ると共に、ジュニアリーダーの指導技術向上を目的に開催。 ①ワークキャンプ7月26～27日 交流キャンプ7月29～30日実施 ②参加者 市内小中学生52人(4年生以上) 参加ジュニアリーダー19人	下呂市ジュニアリーダーズクラブを中心にキャンプを行うことによりシニアリーダーは育成指導者としての成長、ジュニアリーダーは指導する立場を経験することで個人の成長につながった。
社会教育活動推進事業 10040301	◇P T A活動の推進支援。 ◇文化協会活動推進支援。 ◇生活学校活動の推進支援（萩原・金山）。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育	社会教育関係団体補助金 2,205千円 【対象団体】 市文化協会連絡協議会 市P T A連絡協議会 萩原町生活学校 金山町生活学校	市文化協会連絡協議会については、市全体の一体感、自立に向けての意識はあるが、会員の高齢化や地域の文化協会の在り方などから、下呂市文化協会の設立、移行については進んでいない。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
家庭教育支援総合整備事業 10040305	<ul style="list-style-type: none"> ◇親まなび講座。 ◇命のふれあい講座。 ◇企業内家庭教育研修会。 ◇家庭教育支援事業（下呂市家庭教育支援チーム）。 ◇子育て支援の連携会議による家庭教育相談体制の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育 (4) 情報教育 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 親学び講座 親まなび講座 4回開催 121人参加 親まなび講座支援事業 1回 9人参加 (2) 下呂市家庭教育支援事業 UPカフェ・赤ちゃんカフェ 支援チームスタッフ 10人、 開催26回、延べ参加者825人 小坂地域3回、萩原地域9回、 馬瀬地域1回、下呂地域6回、 金山地域7回。 (3) 命のふれあい講座 市内 7 中学校29回、参加852人 	<p>UPカフェ・赤ちゃんカフェでは、保護者同士または保護者と支援チームの語り合いの場をつくり、子育て中の母親の悩みや不安の解消、ストレス発散を図った。広報活動として、金山地域と小坂地域で広報紙を作成発行。小中学校・保育園を通して保護者に配布をした。今後は市内全域へ広めたい。</p> <p>命のふれあい講座では、市内中学3年生全員が、命の大切さ等の学び、人権への意識、自己肯定感の醸成につながった。</p> <p>H27年度、企業内家庭教育研修の開催が出来なかった。</p> <p>父親の育児参加、経営者側の子育て支援への認識を深める効果が大きいが、下呂市においては、受入れ企業が限られる為、地域等で推進することを検討し、市民にもっと情報を発信、子育てについて理解を深めていただく必要がある。</p> <p>家庭教育については、地域や学校などとの連携が必要であるが、現在は十分とは言えず、今後の課題である。</p>

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
生涯学習講座 10040309	◇生涯学習講座の開催。 (やらまいか講座を含む) ・参加者見込 延べ2,000人・例年5地区12会場 前期(5~9月)・後期(10~3月) ○前後期それぞれ25講座を募集。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育 (4) 情報教育	講座の実施状況 ◆萩原 ・前期 5講座70人 延303人参加 ・後期 5講座42人 延217人参加 ◆下呂 ・前期 5講座55人 延187人参加 ・後期 5講座92人 延414人参加 ◆金山 ・前期 4講座36人 延128人参加 ・後期 4講座45人 延201人参加 ◆小坂 ・前期 4講座32人 延117人参加 ・後期 3講座37人 延138人参加 ◆馬瀬 ・前期 3講座22人 延64人参加 ・後期 2講座18人 延80人参加 ○合計 ・前期21講座215人 延799人参加 ・後期19講座234人 延1050人参加	生きがいづくり、仲間づくりを目的として例年同様の方式で開催した。アンケート等をもとに、市民ニーズを把握し、スポーツジャンルを多く取り入れるなどの工夫を行い、受講者の満足度を上げることができた。
公民館活動 10040401	◇公民館条例に規定する公民館活動。 ◇各公民館独自開催による講座の開催。	(3) 地域教育 (4) 情報教育	◆東公民館 前期 3講座19人 延19人参加 後期 3講座16人 延16人参加 ◆菅田公民館 前期 1講座10人 延10人参加 後期 3講座40人 延40人参加 ◆下原公民館 前期 1講座11人 延11人参加 後期 2講座20人 延20人参加 ○合計 前期 5講座40人 延40人参加 後期 8講座76人 延76人参加	金山地区3公民館とともに公民館主事が中心となり、多くの講座を開催することで、子どもからお年寄りまで楽しく学べる機会を創出することができた。金山地域の公民館活動は地域を繋ぐきっかけ作りにもなっており、他地域の公民館が学ぶべきことも多い。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
公民館施設管理 10040405	◇市内10か所の公民館管理。 ①山之口公民館②あさんず会館③湯屋地区公民館④竹原公民館⑤上原公民館⑥中原公民館⑦下原公民館⑧東公民館⑨菅田公民館⑩馬瀬中央公民館。	(3) 地域教育 (4) 情報教育	施設の利用状況 山之口公民館 2,690人 前年度比141.3% あさんず会館 3,385人 前年度比96.9% 湯屋地区公民館 1,966人 前年度比89.1% 竹原公民館 8,374人 前年度比111.6% 上原公民館 4,064人 前年度比95.5% 中原公民館 3,939人 前年度比101.0% 下原公民館 7,394人 前年度比103.1% 菅田公民館 2,924人 前年度比96.0% 東公民館 1,406人 前年度比103.6% 馬瀬中央公民館 5,275人 前年度比139.9% 計 41,417人 前年度比107.3%	適正な維持管理を行い、例年同様に運営することができた。とりわけ、山之口公民館、馬瀬中央公民館の利用人数が多く、地域行事の実行委員会会議や、特定健診の場となっている。いずれの公民館も地域コミュニティの中核となっていることがわかる。
公民館施設維持補修 10040409	◇市内 7 カ所の公民館にかかる小規模修繕。	(3) 地域教育	公民館軽微修繕 494千円	適正な維持修繕を行い、利用者にとって利用しやすい条件を整えた。
公民館施設整備事業 10040413	◇中原公民館屋根塗装工事。	(3) 地域教育	中原公民館 屋根塗装工事 (A=425m ²) 1,826千円	懸案となっていた屋根塗装工事を行い、利用者にとって利用しやすい条件を整えた。
図書館運営 10040501	◇図書館（はぎわら、下呂、金山）及び図書室（小坂、馬瀬）の運営。 ◇新刊図書購入費、図書システム運用管理。 ◇資料の充実、雑誌・月刊誌の充実。 ◇広報活動。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (4) 情報教育	・蔵書数H26 99,728冊からH27 102,797へ増加 ・登録者数H26 7,786名からH27 8,258名へ増加 ・年間280日開館（はぎわら図書館）	蔵書数、登録者数は増加したが、実利用者、年間貸出数は減少しているため、積極的な集客事業の展開が必要である。年代別の利用者数についても分析し、対応が必要である。

重 点		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
文化財保護事業 10040701	◇老朽化した愛護標柱・看板の更新。 ◇文化財審議会（委員10名）。 ◇文化財保護巡視員（15名）による文化財の巡視。 ◇指定文化財（市所有）の保護。 ◇登録・保護に要する所見調査。 ◇無形民俗文化財の公開支援 ◇野外文化財を活用した地域再発見事業の実施と支援。	(3) 地域教育 (4) 情報教育	・文化財保護巡視員会議の実施 ・飛騨美濃歌舞伎大会げろの実施 ・国登録有形文化財「天領酒造店舗兼主屋」答申	市内文化財の認識度が向上し、適切に保護されている。
響会館施設管理 10040705	◇響会館の管理運営の見直し（指定管理）。 ◇主たる利用者は萩原地区太鼓4団体（社会教育登録団体）。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育	施設の利用状況 利用者数2,998人前年度比132.4%	施設改修など（トイレの廃止など）を行う事で、管理しやすい環境を整えた。
文化財保存修理事業助成 10040709	◇禅昌寺蔵大涅槃図保存修理補助 ◇祖師野八幡神社幣殿修理（県重文）補助・岐阜県指定文化財保護事業（間接補助：県50%、市25%） ◇年度内に発生する補助事業（市指定文化財の保存修理、保護 事業費×1/3）	(3) 地域教育 (4) 情報教育	・県重文禅昌寺蔵大涅槃図修理 ・県重文祖師野八幡神社幣殿修理 ・市重文保護事業3件	所有者に補助金を交付することで、文化財を適切に修復し保護することが出来た。
下呂ふるさと歴史記念館管理運営 10040713	◇下呂ふるさと歴史記念館の管理運営（市内で唯一の博物館法に定められた博物館相当施設）。 ◇縄文公園の管理運営（さわやかトイレ含む。※さわやかトイレについては廃止の方向で検討）。 ◇収蔵古文書目録作成委託。 ◇総合型歴史博物館としての企画事業実施。（教育機関活用・観光計画とも連動）。 ◇博物館収蔵資料の管理と寄贈・寄託による市内文化財の保護。	(3) 地域教育 (4) 情報教育	・来館者数：14,744人（H26実績：15,410人） ・学校団体訪問数：5校 ・児童生徒見学数：70名 ・国際交流関係：3件30名 ・教員研修：1件13名 ・埋蔵文化財体験学習：年間531名	平成27年度アンケート調査の結果、「学習的有効性の度合い」が5段階評価で3.9と高いポイントで評価されている。
加藤素毛記念館管理運営 10040721	◇加藤素毛記念館の管理運営。（岐阜県指定文化財「加藤素毛の遺品」を陳列）・開館は3月～11月の毎月1日・15日	(3) 地域教育	・来館者数204名（H26実績：203名）	県重文「加藤素毛の遺品」を適切に保管できている。
小坂郷土館管理運営 10040729	◇小坂郷土館管理運営。（小坂地域の考古資料・歴史資料・民俗資料を陳列）・開館は3月～11月の土日祝日。	(3) 地域教育	・来館者数271名（H26実績：285名）	小坂地域の歴史・民俗資料を適切に保管できている。
金山郷土館管理運営 10040733	◇金山郷土館の管理運営。（金山郷土館長を選任）	(3) 地域教育	・来館者数70名（H26実績：61名）	金山地域の歴史・民俗資料を適切に保管できている。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
馬瀬歴史民俗資料館管理運営 10040737	◇馬瀬歴史民俗資料館の管理運営。（馬瀬地域の考古資料・民俗資料を保管・陳列）・開館は希望日のみ予約制（平日のみ）。 ◇閉館の方針	(3) 地域教育	・来館者数13名(H26実績：0名)	馬瀬地域の歴史・民俗資料を適切に保管できている。
禅昌寺歴史資料館管理運営 10040741	◇禅昌寺歴史資料館の維持管理。（市内貴重文化財（寄贈・寄託含む）の収蔵保管施設と、埋蔵文化財等の報告書作成及び収蔵資料台帳作成のための整理作業場として活用）。	(3) 地域教育	・下呂市の文化財収蔵庫として利用(H27収蔵品の特別閲覧実績：12件)	下呂市が所蔵する埋蔵文化財・古文書・美術工芸品を適切に保管できている。
文化施設展示活動等運営事業 10040745	◇博物館の生涯学習拠点化推進のための博物館講座開催。 ◇博物館等の収蔵資料の調査・整理・展示。 ◇展示公開品と学習支援・体験学習の充実。 ◇博物館の学習環境向上のための参加型製作等体験事業。	(3) 地域教育 (4) 情報教育	・夏の企画展の実施(7/25～8/30) ・秋の企画展の実施(10/24～11/29) ・ふるさと歴史講座(馬瀬会場：18名、小坂会場：13名) ・下呂市収蔵古文書目録「中呂村文書目録」刊行 ・埋蔵文化財未整理遺物(桜洞神田遺跡)整理作業	平成27年度アンケート調査の結果、「学習的有効性の度合い」が5段階評価で3.9と高いポイントで評価されている。 (下呂ふるさと歴史記念館管理運営費と同じ評価を記入)
文化財博物館施設等維持補修 10040749	◇下呂ふるさと歴史記念館・縄文公園及び市内4郷土館に係る小規模修繕。	(3) 地域教育	・下呂ふるさと歴史記念館電気設備及び縄文公園遊歩道等小規模修繕5件	長年注意喚起していた箇所の整備を行うことで、利用者の利便性が高まった。
埋蔵文化財発掘調査・出土品整理活用事業 10040753	◇埋蔵文化財の適切な保護。 ◇開発工事等に先立つ試掘調査支援（国庫補助金を利用）。 ◇遺跡詳細分布地図作成業務（H27年度に野外分布調査を完了）。 ※H28年度から採集遺物の観察表作成、遺物図化・写真撮影を開始。H29年度までに5地域を完了。H30年度に遺跡地図・分布報告書編集のためのDTP編集。H31年度に遺跡地図・分布調査報告書発刊。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育 (4) 情報教育	・小坂地域埋蔵文化財包蔵地現地確認踏査の完了(H24～野外踏査完了) ・現地採集遺物の基礎整理委託3件の実施(下呂・金山地域、萩原地域、馬瀬地域)	遺跡地図の活用が進み、適切な保護対策と対応が実施できている。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
位山自然の家管理運営 10040801	◇位山自然の家の管理運営。（一部管理委託料、下呂市内小中学校のセカンドスクールとして森林体験事業等での利用。開設期間4月～11月） ◇指定管理を検討。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育 (4) 情報教育	平成27年度利用者 5,696人 前年度比 121.0% ※開設期間 4月～11月	市内学校はもちろんのこと、市外の利用者のリピート率も高く、施設の良さや、施設を取り巻く自然環境の良さが評価される。また、地元スタッフのあたたかなおもてなしも光り、利用者にとって、思い出に残る施設となっている。
星雲会館管理運営 10040805	◇星雲会館（生涯学習センター及び福祉センター）の管理運営。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育	平成27年度利用者 50,087人 前年度比 99.9% ※開館347日	萩原地域の利用者はもちろんのこと、他地域からの利用者も多い。ダンス教室等の教室活動も活発に行われており、萩原地域における中央公民館としての役割を果たしている。
いきいきセンター管理運営 10040809	◇いきいきセンター管理運営（※教育施設から除外の方針で検討）。	(3) 地域教育	平成27年度利用者 979人 前年度比 71.0%	適正な維持管理を行い、利用者にとって利用しやすい条件を整えた。
社会教育施設維持修理事業 10040813	◇社会教育施設の小規模修繕、維持補修。 ◇響会館（管理移管に向けた整備）。 ◇星雲会館、位山自然の家、あさんず会館・いきいきセンター・山之口キャンプ場・中川原キャンプ場・響会館。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育	◆星雲会館 ・空調機修理ほか488千円 ◆位山自然の家 ・ウォシュレット取替ほか216千円 ・ボイラ一煙突修理1,128千円 ◆山之口キャンプ場 ・トイレ扉修繕ほか144千円 ・多目的施設 新設基本設計委託475千円 新築工事監理委託378千円 支障木伐採業務委託110千円 新築工事9,758千円 給排水設備工事ほか318千円 ◆いきいきセンター ・漏水修繕6千円 ◆響会館 ・屋根塗装工事831千円	各社会教育施設において、適正な維持修繕を行うことができた。とりわけ、山之口キャンプ場においては、岐阜県産材需要拡大整備事業を活用し、多目的施設を建築することで、利用者の利便性向上及び、今後の利用者数の拡大が期待できる。また、響会館においては、懸案となっていた屋根塗装工事を行った。今後、市の方針に沿い指定管理導入への条件整備となつたと考える。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
星雲会館耐震改修事業 10040817	◇星雲会館耐震改修事業。 ※日々多くの市民が利用しており、公の施設の維持管理方針により継続とされた当該施設を、耐震性がないため、耐震補強工事を行う。併せて萩原庁舎とするための改修工事を行う。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育	星雲会館耐震補強工事測量設計等委託料8,932千円	萩原庁舎の機能を併せ持つ工事設計を立てることができた。安全な地域の拠点整備となる
中学生姉妹都市交流事業 10040901	◇ケチカン市派遣30回目。 ◇ペンサコーラ市派遣24回目。 ※両派遣時期は3月を予定 ◇ケチカン市、ペンサコーラ市中学生訪問団の受入事業。 ◇ケチカン市との語学指導員の相互派遣。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育	第23回ペンサコーラ中学生派遣20名 第29回ケチカン中学生派遣12名 ケチカン日本語指導員1名派遣 ペンサコーラより11名受入れ ケチカンより13名受入れ	中学生海外派遣事業等の継続により、両市との交流が広く認知されており、親近感も高まっている。これにより、小・中学生等がさらに英語や外国の文化に興味を持つようになっており、派遣団の生徒が帰国後も英語スピーチコンテストに出場する等積極的に活動している。 派遣団の家族も派遣事業やホストファミリーの経験を通して交流の良さを実感し、家族ぐるみで他国の文化を理解し交流を深めている。
保健体育事業 10050105	◇下呂市スポーツ推進審議会による計画の評価、検証。 ◇地域スポーツ委託事業による自主的な地域スポーツ振興支援。 ◇下呂市総合型地域スポーツクラブ連絡会の定期開催と未設置地域への拡大推進。 ◇下呂市スポーツ指導者講習会開催。 ◇総合型地域スポーツクラブと学校体育・スポーツ関係者との連携会議の開催。 ◇下呂市体育協会補助事業、各種競技団体育成支援。	(3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	・スポーツ推進審議会 委員10名 審議会6回開催 ・スポーツ推進委員20名 市スポーツイベントの協力 軽スポーツ講習会	スポーツ推進審議会では、体育施設の合理化と有効利用について審議し意見をまとめ、社会体育施設の見直し方針を教育委員会に答申した。 市民が、いつでもスポーツに親しむことができる社会を目指すための、今後10年のスポーツ行政の方針をさだめたスポーツ推進計画を策定できた。
体育振興団体活動事業助成事業 10050109	◇全国大会出場者激励金。 ◇市体育協会補助金。	(2) 青少年教育 (5) 生涯スポーツ	全国大会出場者述べ73名に激励会を開催した。	優秀選手を紹介することにより、選手の励みとなり、スポーツに対する市民の意識も高まった。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
生涯スポーツ普及事業 10050113	◇地域スポーツ振興事業（委託）。 ◇体力測定等市事業で使用する指定管理施設の利用料。 ◇スポーツ用具の整備。 ◇下呂里山ツーデーウォーク事業の開催（濁河・下呂で開催予定）。 ◇日本ハンドボールリーグ戦開催支援。	(1) 家庭教育 (2) 青少年教育 (3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	・里山ツーデーウォーク事業 5月30日（御嶽）31日（金山）で開催。述べ参加者380名	地域スポーツ振興事業の委託により、各地域における特色のあるスポーツイベントが開催された。さらに委託先である下呂市スポーツクラブ連絡会は、地域を超えた市内全体の事業にも積極的に運営することができ、結果として連絡会としての一体感が生まれた。 下呂里山ツーデーウォークの開催により、生涯スポーツとしてのウォーキングの素晴らしさを知ってもらうことができ、さらにコースとなった御嶽地域、金山地域の素晴らしさを参加者に感じてもらえた。
ひだ金山清流マラソン大会開催 10050117	◇ひだ金山清流マラソン大会開催。	(2) 青少年教育 (3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	11/1開催 エントリー518人、当日参加者480人	参加者は例年より減少したものの、新コースの追加や、ひだ金山まちづくり協議会との協力により、さらに地域に密着した大会となったことで、参加者のみならず、大会に関わる方々に伝統ある当大会の素晴らしさを知ってもらうことができた。

重 点

		平成27年度 点検評価		
重 点 (事 業)		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
スキーの集い開催 10050121	◇スキーの集い開催。（小学生以上の初心者等を対象。主管は下呂市スキークラブ）	(2) 青少年教育 (5) 生涯スポーツ	1/18 モンデウススキー場で開催 54名参加	参加者は例年より減少したものの、下呂市スキークラブやモンデウス飛騨位山スキー場の協力のもと、指導の行き届いたスキー教室を開催することができた。このイベントで初めてスキーを体験する参加者多く、生涯スポーツとしてのスキーの面白さを体験してもらえるイベントとなった。また、参加者のリピート率も高いことから、下呂市スキークラブの指導力も高く評価でき、指導者育成の一助となつた。
グラウンド等管理運営 10050201	◇社会体育施設、学校開放施設のグラウンド等の管理運営。	(3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	使用人数 59,523人	適正な管理の下、安全でスポーツに親しめる環境づくりに努め、市民に利用いただいたが、今後は、市民の利用の公平性と財政の最適化を図る必要がある。
体育館管理運営 10050205	◇小坂体育館、山之口体育館、萩原南部体育館、下呂体育館、馬瀬武道館、湯屋体育館および学校開放施設の管理運営。	(3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	使用人数 102,767人	
B & G 海洋センター維持管理負担金 10050209	◇加子母B & G 海洋センターの維持管理。協定によりB & G 海洋センターの維持管理費から特定財源を除いた1/2相当額を負担している。	(5) 生涯スポーツ	B & G 海洋センターの維持管理費の半分を支出 中津川市からわくわくプラザへ指定管理	中津川市の指定管理施設について、中津川市との共有施設として施設管理運営に関する協定に基づき、同市が支出する維持管理費の約2分の1を負担する。利用者の固定化が見られる為、中津川市と協力し利用促進を図らなければならない。 H26年度にはバリアフリー化が完了している。
体育施設維持補修 10050217	◇社会体育施設の設備修繕。	(5) 生涯スポーツ	・あさぎり野球場照明取替 ・和佐グラウンドフェンス修繕等	適正な修繕の結果、安全性が向上し、スポーツを楽しんでいただけた。

重 点		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
元気ではつらつ 増進施設管理運 営 10050225	◇金山リバーサイドスポーツセンター管理運営。 (指定管 理) ◇上ヶ平サンビレッジの管理運営。 (指定管理)	(5) 生涯スポーツ	使用人数 上ヶ平サンビレッジ 27,659人 金山リバーサイドスポーツセンター 60,861人	上ヶ平サンビレッジは、昨年度比約4,000人の使用人数増、金山リバーサイドスポーツセンターは約3,200人の使用人数減となつた。下呂地域では、新規会員が増えており、指定管理者による営業努力が評価される。雨漏りなど、施設の老朽化が進行しており、施設の健全な管理がさらに求められる。
御嶽パノラマグ ラウンド管理運 営 10050233	◇御嶽パノラマグラウンド管理運営。 (指定管理) ◇御嶽パノラマグラウンドNTC競技別強化拠点活用促進。 ※文部科学省が指定するNTC(ナショナルトレーニングセンター)競技別強化拠点施設。	(3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	使用人数 5,282人	使用人数は、昨年度比微減となつたが、青山学院大学等、陸上有名校の利用及び、各大会での活躍が光り、日和田グラウンドとともに脚光を浴びる施設となつた。また、イギリス、フランス等の代表チームによる合宿及び、世界陸上北京大会での活躍が大きな話題となつた。濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターとの一体的な指定管理によって、両施設のさらなる飛躍が期待できる。
舞台峠ドーム管 理運営 10050237	◇舞台峠ドーム管理運営。 (加子母B&G海洋センター指 定管理者へ委託) 中津川市が運営費の1/2を負担	(3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	利用者 下呂市 4,867人 中津川市 4,673人 他 2,015人	適正な管理の下、スポーツを楽しんでいただけた。利用者等から冬期の防寒、防風対策の要望があるが、市民の利用の公平性と費用対効果を勘案し対策を講じる必要がある。
舞台峠ドーム施 設維持補修 10050241	◇舞台峠ドーム施設維持補修。	(5) 生涯スポーツ	・水銀灯取替え ・屋根ボード落下防止工事	適正な維持管理を行い、利用者にとって利用しやすい条件を整えた。今後、大規模改修の必要性が考えられる。

重 点		平成27年度 点検評価		
重 点（事 業）		(分野別教育)	アウトプット	アウトカム
あさぎりスポーツ公園管理運営 10050245	◇あさぎりスポーツ公園管理運営（指定管理）	(1) 家庭教育 (3) 地域教育 (5) 生涯スポーツ	利用者数 44,001人 萩原スポーツクラブへ指定管理	あさぎり体育館耐震補強工事等により、今年度、体育館利用者数が減少した。 萩原スポーツクラブによる包括的な指定管理により、萩原地域の生涯スポーツの発展を感じられる。